

令和7年度 第3回 江府町学校運営協議会 議事録

- 期 日:令和 8 年2月 13 日(金)
- 時 間:19:00~20:30
- 場 所:日野川校舎 多目的ホール

<会議出席者>

- 【委員】井上裕吉副会長、井上廉女委員、北村委員、藤原委員、高津委員、加藤浩美委員、川端委員、加藤千恵子委員、景山委員
(欠席:宮本会長、遠藤委員、船越委員)
【事務局】持田指導主事、稲村副校長、山本教頭、竹田 CSD

1 開会 井上副会長挨拶

2 報告 学校より(景山校長先生)

- ・1月の地震対応、西ノ島交流、受験シーズンの9年生など児童生徒の様子について。

各部会より

健全育成部(川端部長)

- ・挨拶運動とノベルティ(マスク・ティッシュ)の贈呈を実施。家庭教育支援チームとのコラム連携も好評であった。

学習・行事支援部(高津部長、藤原委員)

- ・奥大山大根クラブ(大根販売、大根パーティー)の実施報告。

地域活性化部(井上副会長)

- ・十七夜ポロシャツのデザインを3月24日まで募集中。

事務局より

- ・鳥取県地域とともにある学校づくりフォーラム参加(11月7日)
- ・家庭教育支援チーム「親子でパルクール体験イベント」開催(11月29日)

3 協議

令和7年度 学校評価について

○奥大山江府学園の最終自己評価 報告(景山校長)

【自立】①自ら学びを深めようとする対話的な授業実践

【自立】②学習の習慣化と学力の向上

について

井上副会長	ICT活用一方で、「手書き」や「計算」などの基礎能力低下が懸念されているがどうか。
景山校長	漢字練習など従来の手法とICTを適材適所で使い分けている。デジタル教科書の普及など時代は変わるが、書くことが苦手な子が増えている実感はある。今後はAI(生成AI等)の普及により、求められるスキル自体が変化する可能性もある。
井上副会長	先生方の授業コマ数と多忙感について。
景山校長	週時数は一番少ない1年生で週28コマ。総時間数は増加傾向にあったが、働き方改革により、上限を下回るよう指導が入った。早く帰る日を設けるなど工夫し、余裕を持って子どもを迎えられるよう努めている。

井上副会長 項目①と②について、学校自己評価の通りとする。

【敬愛】③かかわりの中でともに伸びようとする集団の育成

【敬愛】④多様なかかわりによる「あこがれ」や「やさしさ」、望ましい校風づくりへの意欲などの
非認知能力の育成

について

井上副会長	心理検査「QU」の導入経緯と結果は。
景山校長	以前から実施している。少ない質問項目で子どもの内面(居心地や不安)がよく現れる検査だと考えている。年2回実施し、学年を越えて教職員で共有し、きめ細かな対応に繋げている。
委員	子どもからも要望のある「縦割り活動(遠足等)」を充実させてほしい。
景山校長	体育祭の時期変更もあり、調整中。地域の方の協力も得ながら充実させたい。
委員	昨年度の評価「A」に比べ、今年度が「B」に下がった要因は。
景山校長	公立学校ゆえの「教職員の異動」も要因。昨年度は退職・異動が重なり、義務教育学校の経験がない先生が多く着任した。1年かけて課題が見えてきた段階であり、次年度への伸びしろと考えている。
委員	評価シートにある「人権≠個人の権利主張」という記述の真意は。
景山校長	自分の権利を主張するあまり、他者の尊重が弱くなっていると感じられる場面があったという意味かと想像する。
井上副会長	落書きや不登校など、ドキッとするような課題も書かれている。実態は。
景山校長	不登校やトラブルのない学校はないし、特効薬もないと思う。日常的に生じる課題に、一つひとつ向き合ってアプローチし続けるしかない。学校が子どもの居場所となるよう、地域とも協力していきたい。

井上副会長 項目③と④について、学校自己評価の通りとする。

【剛健】⑤自己の課題や目標を見極めた心と体の健康づくり

【剛健】⑥一人ひとりの力を引き出す指導・支援の充実

について

井上副会長	支援学級の新設や放課後個別学習について。
景山校長	今年度からブナ・日野川両校舎で支援学級が1つずつ増えた。人員配置も増えることになるが、人手不足により非常勤講師で対応している面や、育休・産休の代替職員の配置が困難な厳しい現状もある。
井上副会長	放課後個別学習は全校で行っているのか。
景山校長	主に1~3年生の、読み書きに課題がある児童に対し、マンツーマンで実施している。

井上副会長 項目⑤と⑥について、学校自己評価の通りとする。

【創造】⑦探究的な地域学習を通したふるさとへの愛着とよりよい町づくりへの意欲づけ

【創造】⑧自分の生き方(キャリア)を考える力の育成

について

井上副会長	「奥大山マスターブック」の活用状況は。
景山校長	配布はしているが、教科書のように活用しきれていない面があると感じている。むしろ新しく来た先生が街を知るためのツールとしての価値がある。学習にどう活かすかが課題。
井上副会長	日輪祭での神楽の発表など、ふるさと学習のクオリティは高まっていると感じる。

井上副会長 項目⑦と⑧について、学校自己評価の通りとする。

【管理・事務部】⑨学校教育目標達成のため必要な予算執行及び環境整備を行う。 について

井上副会長 項目⑨について、学校自己評価の通りとする。

【参考】保護者・児童生徒アンケートの結果報告(景山校長先生)

保護者：肯定的な評価は多いものの、「学校からの情報発信(学校だより等)」や「授業参観への参加」が昨年度比で若干低下。

児童生徒：挨拶や将来の夢については肯定的だが、「家での仕事(お手伝い)」や「自分の良さへの気づき」の項目が低い傾向にある。

1年生から9年生まで、発達段階に応じたアプローチを次年度も継続していく。

4 その他

・令和7年度 第4回学校運営協議会

<日時>3月17日(火)19:00~

<内容>令和8年度 奥大山江府学園の学校経営方針について

5 閉会